

ナウリコット村再生プロジェクト コンセプト

- ナウリコット村活性化のシナリオ
- 取組みの方向性と概要
- 再生支援スキーム(将来の全体イメージ)
- 農家民宿事業スキーム

ナウリコット村活性化のシナリオ-----地域の資源を最大限に活かして健康で安全、持続性のある暮らしを実現する。

農業

畑
野菜
大麦、小麦、沈香麦
大根、人参、カブ
イチゴ
リンゴ・アブリコット
ロキシー、地酒

ヤク、牛
そば
そばの花
有機農業
漬物/ジャム/チーズ
オーガニック
高冷地野菜の栽培
(周辺のロッジに提供)

自然環境・教育プログラム
森林・自然資源
ヒマラヤの山の景観
ダウラギリ、ニルギリ、アンナプルナ、ツクチェピーク
森の中の池、豊かな生態
松林
編み物/絨毯/木彫り工芸
松ぼっくり
松ぼっくりアート
養蜂・蜂蜜
木酢(除虫、肥料)

建築・風景・インフラ

肥料・たい肥
家畜小屋でのたい肥づくり
清潔な暮らしへの願望
伝統的住宅(石積み平屋)
集積的建物配置の街並み景観
バグルン自動車道路の開通

山間地域の特徴を生かして
農業の付加価値を高める
コミュニティ・キッチン
(農産物加工場、惣菜、女性グループ)
健康で安全な暮らしを支える
(衛生環境の向上モデルを示す)
バイオガスプラント/共同風呂
循環型トイレ(エコ・サン)
コミュニティ民宿
(コミュニティレストラン)
伝統的集落景観の保全と
崩壊家屋の再建
伝統的住宅環境調査(住まい方・温熱環境)

自然環境学校
(コミュニティ民宿と連携)
新たな工芸品・土産物
マイクロ水力発電
地元の学校との連携(絵画等を通じた子供への情操教育)
水車小屋
豊富な水の活用
清潔な水の各戸給水
民間・村民プロジェクト
集会所整備
村民の心を支える(誇りと自信を与える)
メディテーションセンター
地域固有の歴史を現代に生かす
多数のチベット仏教寺院
信仰の村
多数の瞑想用洞窟(数百年前より)
3000年前からの聖地
(グルサンポ洞窟)

生活様式・QOL

当面のTDA/JICA草の根協力
支援事業

ナウリコット村課題の背景と基本的な取組方針

(課題)

人口減少・高齢化により村の維持管理が困難化
自動車道路整備により、山間集落は過疎化がより進行
街道筋は生活環境悪化とトレッキングの魅力を喪失
住民は住み続け、伝統的価値を守る意識は高い

(緊急的課題) 村からの人口・世帯流出を食止める
村の新たな雇用や現金収入の確保
立地性を生かした農村ツーリズムの開始
エコロジカルな循環型社会の形成

(取組方針) 村の総合的再生を目指して、その第一歩としてのプロジェクト
周辺の地域全体改善のモデル的プロジェクト
Uターン、村出身人材活用

プロジェクトのフレーム

地域の特徴を生かした食の提供

地元で収穫できる農作物・果樹の加工、惣菜づくり
(女性グループによる加工・販売、現金収入を得る)
周辺ロッジ等への提供(地産地消)
有機的農業、高冷地野菜栽培との連携

コミュニティ・キッチン

ゲストを迎える安全で快適な居住環境

石積み平屋、塊状集合建築の街並み保全
村人共同によるモデル民宿の整備と経営
家屋の環境向上モデル(温熱・採光環境)
バイオガスプラント併設型共同トイレとシャワー

コミュニティ・民宿

農村ツーリズムの知識・技術の普及

立地性を生かした当地域の農村ツーリズムのあり方
中心メンバーや村民への勉強会
ゲストのためのアクティビティ・イベント計画の開発

農村ツーリズム構想

(周辺)ロッジへの供給←有機農業による野菜等の高品質化←液肥・堆肥醸成←風呂・キッチンへのエネルギー供給、太陽熱利用←バイオガス発生←汚水・家畜糞処理

循環型システムの形成

プロジェクトの実現の方法

■プログラム

●活動1

○村の資源、集落、インフラ、農業等についての環境実態調査

○プロジェクトのための基本計画、施設設計

●活動2

○施設(コミュニティ民宿等)の建設

○工事、工事監理、等ハード整備

○施設運営と農村ツーリズムに関する知識普及

●活動3

○各施設の運営のための組織づくりと運営管理計画の作成

○村人による参加者グループの組織化

○各施設の実際の運営

●長期目標

○地域資源を活用した村の総合的な活性化と再生

・地域の特徴を生かした農業の展開と高付加価値化
・豊かな自然を生かした環境教育拠点の形成(自然環境学校)
・子供達への情操教育、村人の心(誇りと自信、精神性)を重視する村づくり

■事業と人材活用の体制

JICA草の根協力支援事業

日本
N
G
O

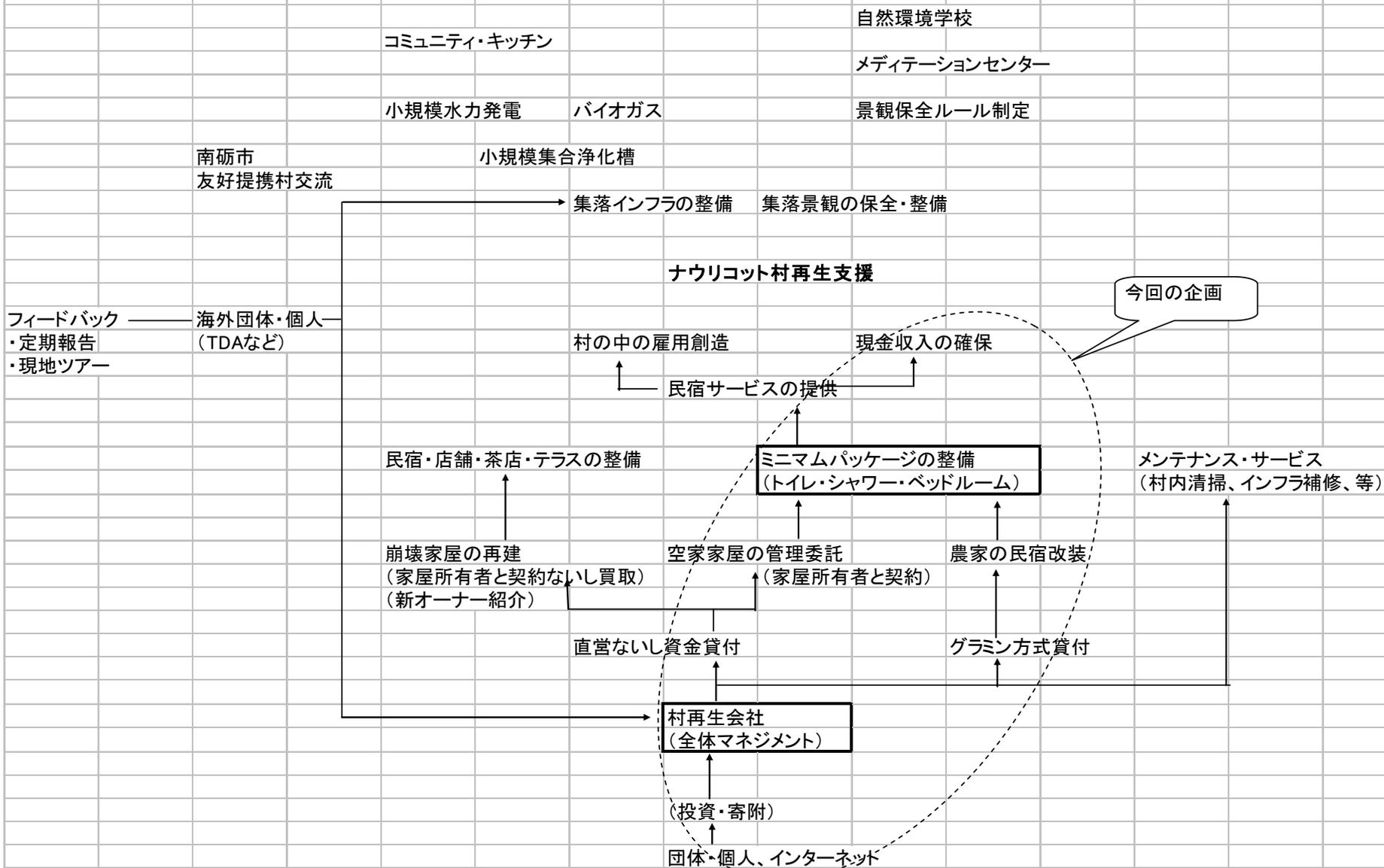
N
G
O
カ
ル

アドバイザー派遣/研修

* 関連民間支援

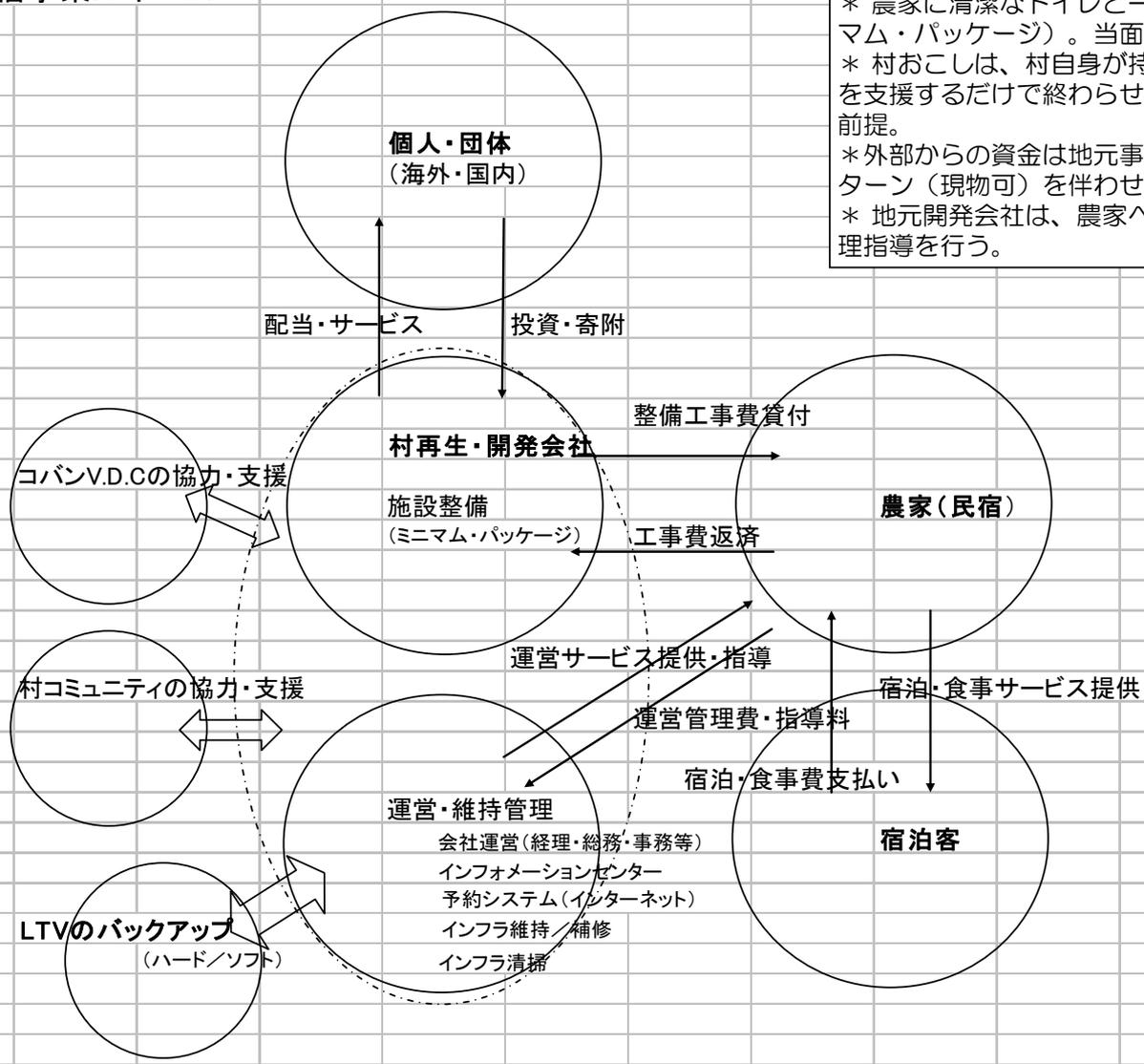
* 関連協力事業

ナウリコット村再生支援スキーム(将来の全体イメージ)



農家民宿事業スキーム

* 農家に清潔なトイレと一つのゲストルームを整備するプロジェクト（ミニマム・パッケージ）。当面は、10軒程度を目標に整備。
 * 村おこしは、村自身が持続的に開発を進めることが重要で、外国人がお金を支援するだけで終わらせない。地元側に事業組織（開発会社等）の設立が前提。
 * 外部からの資金は地元事業会社への投資の形で行われ、なにがしかのリターン（現物可）を伴わせる。
 * 地元開発会社は、農家への整備資金の貸付・回収、運営サービス・維持管理指導を行う。



●ミニマムパッケージ試算 (農家一軒あたり)	
コスト(総合コスト): 3000ドル トイレ(シャワー付き): 1500ドル 浄化槽: 300ドル ベッドルーム: 700ドル 厨房・什器等: 500ドル	
収入: 3000ドル/年間 \$15ドル/泊 × 2人 = 30ドル 稼働日100日	
支出: 2500ドル/年間 返済金: 750ドル/年(無利子・3年で返済) 農家経費: 750ドル マネジメント・指導料: 500ドル	
農家利益: 500ドル/年	
●会社マネジメント収入	
目標	10軒
年間総収入: 500ドル × 10軒 = 5000ドル/年間	